

2022



# 緑小だより 3号

令和4年6月  
清川村立緑小学校  
児童数 109人  
家庭数 82戸



## 初夏を迎えて



校長 船津 慎一

緑小のプールに澄んだ水が溜まりました。今年も水泳学習を実施するため清掃して水を張り替えました。この2年間、児童・生徒によるプール清掃を行えず、緑小教職員で時間をかけて清掃していますが、青空にキラキラと光る水面を眺めるとその苦労も報われます。今年も安全に、感染症対策をしながら楽しい水泳学習を実施したいと計画しています。

さて、6月1日は「人権擁護委員の日」ということで、緑小にも村の人権擁護委員さんが来校されました。人権とは、「誰もが生まれながらにして持っている人間として幸せに生きていくための権利」で、実は私たちの日々の生活を支える、とても身近で大切なものです。と書くと少し硬い感じを受けますが、あえて一言で表すと「自分らしく自由で幸せに生きる権利」といえます。ただし、自由は自分勝手と異なるものであることや、自分の幸せのために他人に迷惑をかけてはならないことなどをしっかりと理解しておかなければなりません。これからグローバルな社会に出て活躍する子どもたちには、正しい人権感覚を身につけてほしいと願っています。

新型コロナウイルス感染症については、未だに終息せず日々のご家庭での対策にご苦勞されていることと思います。幸いなことに、これまで緑小では集団感染等は起こっていません。地域や保護者の皆様のお取組に感謝いたします。今後も、手洗い、換気、マスク着用、3密の回避などのこれまでの対策を継続しながら、文科省・村教育委員会の指導の下、できる限りの感染対策を行ってまいります。

ただ、気温が上昇する時期を迎え、感染対策と同時に熱中症予防についても考慮していかなければなりません。先日、文科省からマスク着用について新たな方向性が示されました。緑小でもこれに従って、屋外、体育の学習時、登下校時等のマスク着脱について指導をまいります。具体的なマスクの着脱については、後日、保健だよりでご家庭にもお知らせいたします。マスクの着脱については、一律に、また同一に行うことが難しい場面が予想されますので、学校生活での様々な状況に応じて子どもたちが自ら判断してマスクの脱着ができるよう指導したいと思います。マスクの着脱のみならず、子どもたちには自ら考え、行動できる力を育てていきたいと思いますので、ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。

また、マスクの着脱については、様々な意見があるという世論調査結果が報道されていますが、根拠をもって自ら判断し、他者の判断も尊重できる正しい人権感覚をもって生活できる子どもたちであってほしいと願っています。今しばらく、新型コロナウイルス感染症による不自由な生活を強いられますが、緑小の子どもたちが自分らしく自由で幸せに生きられる人に育ててほしいと願う毎日です。

## 1. 2年生遠足 ~新江の島水族館~

5月19日(木)に遠足へ行ってきました。イルカのショーを見たり海の生き物を見学したり、楽しい1日でした。

イルカのジャンプ、楽しみだね。



見て!あの魚、なにかな??

お弁当、おいしいね!



6月7日に「オールスターフェスティバル」を行いました。

### はじめの言葉~2年生~



学校や先生についての三択クイズを出しました。

### クイズ ~4年生~



### ダンス ~5年生~



5年生が教えてくれた「ようかい体操」と「パプリカ」をみんなで踊りました。



### 司会 ~3年生~



プログラムやCMも作りました。

### ゲーム ~6年生~



6年生が企画した、変身じゃんけんや、じゃんけん列車を楽しみました。

### おわりの言葉~1年生~



### 宮ヶ瀬小~ダンス発表



今年度は、それぞれの学年が役割をもち、みんなが一緒に楽しく活動できるようなフェスティバルになるように、取り組みました。2年ぶりに宮ヶ瀬小との交流もすることができました。